

# 令和2年度第1回総合教育会議

令和2年7月28日

## I GIGAスクール構想（1人1台端末整備）について

- 1 GIGAスクール構想（1人1台端末整備）のスケジュール
- 2 1人1台端末整備により、想定される学習活動とその成果
- 3 教職員のICT活用指導力を高めるための取組

## II 新型コロナウイルス感染症に係る取組等について

- 1 臨時休業中の学習成果の確認とフォローについて
- 2 学校での具体的な感染予防策について
- 3 児童生徒の心のケアについて
- 4 修学旅行等の今後の学校行事について

## III 不登校・いじめについて

- 1 教育相談状況と不登校児童生徒に対する支援及び対応について
- 2 いじめの現状と支援及び対応について



## I - 1 GIGAスクール構想(1人1台端末整備)のスケジュール

	端末 (リース)	充電保管庫 (購入)
令和2年 6月	補正予算(議決済)	
9月		補正予算(提案)
10月	入札	
11月		入札
12月		財産取得(議会の議決)
12月	納品予定	
令和3年 1月	設定作業	
2月	稼働開始予定	設置予定

# I - 2 1人1台端末整備により、想定される学習活動とその成果

これまでの  
教育実践の  
蓄積



最先端の  
ICT



すべての子供を伸ばす  
教育の実現

## 「1人1台端末」ではない環境

一斉学習

- ・ 教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる



学びの  
深化

個別学習

- ・ 全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難）



学びの  
転換

協働学習

- ・ グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい（積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」に）



## 「1人1台端末」の環境

- ・ 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる  
→ 子供たち一人一人の反応を踏まえたきめ細かな指導等、双方向型の授業展開が可能に



- ・ 各人が同時に別々の内容を学習できる
- ・ 各人の学習履歴が自動的に記録される  
→ 一人一人の教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や個に応じた指導が可能に



- ・ 一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる
- ・ 各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる  
→ 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる



1人1人の反応を踏まえた  
一斉学習

教育的ニーズ  
学習状況に合わせた個別学習

リアルタイムで  
協働学習

## I-3 教職員のICT活用指導力を高めるための取組

### ①活用研修会の実施



### ②授業研究会の実施



### ③新しい学びの提案

「双方向オンラインツール『Zoom』の活用



教職員のICT活用指導力の向上

多様な児童生徒一人一人に個別最適化され、  
資質・能力が一層確実に育成できる教育の実現

## Ⅱ - 1 臨時休業中の学習成果の確認とフォローについて

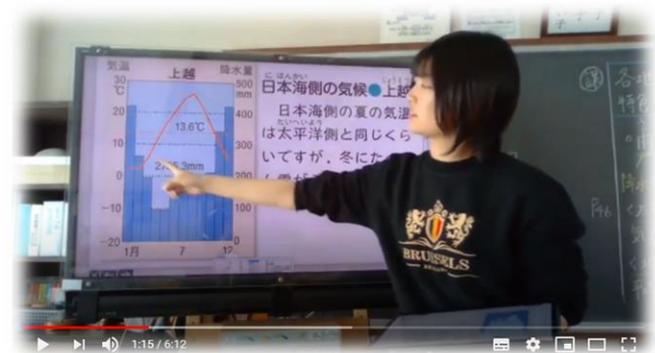
### 臨時休業中の家庭学習の取組

- 日課表による学習課題の提示
- eラーニング（ラインズeライブラリ）
- オンライン学習（動画配信等）



### 学習の定着に向けて

- 指導計画の再編成による授業
- 時数確保
- 確認テストの実施と個別指導



## Ⅱ－２ 学校での具体的な感染予防策について

「上尾市立小・中学校再開実施マニュアル」に基づき、感染予防対策を徹底する。  
～学校の「新しい生活様式」～

＜マスクの着用、手洗いの励行、3密からの回避＞

### （１）生活場面

- ・手洗い場やトイレの入口等に待機線などの表示を行う。
- ・休み時間の校庭使用は、ローテーションを組んで実施する。
- ・全体が集まる朝会、集会等は中止とする。
- ・給食は前向きで喫食する。



### （２）学習場面

- ・学校再開の初日に、全校において、当該感染症予防に係る学級指導を行い、児童生徒は、疾病の理解を深め、適切な予防行動の在り方について学習した。
- ・教室の座席を可能な限り離す。
- ・こまめな換気を実施する。
- ・児童生徒の近距離での会話や大声での発声を避ける。

### （３）その他の安全確保

- ・登校時に児童生徒の検温結果や健康状態を確認し、発熱等の症状がある場合は、自宅で休養するよう指導する。
- ・教職員が放課後に、多くの児童が手を触れる箇所の消毒を行う。
- ・第２保健室を整備し、体調不良者の待機場所とする。



# Ⅱ - 3 児童生徒の心のケアについて

## ①電話相談を中心とした相談対応

### 児童生徒の悩み

コロナ感染症対策  
学習が進まず不安  
友達と会いたい  
外に行けず息がつまる

### 保護者の心配事

子供への接し方  
子供のゲーム依存  
自分も不安  
相談場所を知りたい

## ②臨時休業中の教育相談リーフレット作成

でも、甘えたい・心配になる・元気が出ない・悲しくなる・イライラする…  
今はみんながこのような気持ちになりやすい時です。ふつうのことなので、まず身近な人に相談してみましょう。

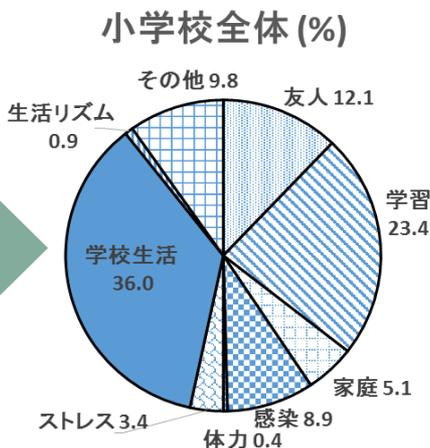
埼玉県相談場所  
上尾市教育センターでも電話相談できます！  
048-776-7600  
上尾市教育委員会  
教育センター

- ①令和元年度からの継続ケースに対応
- ②来所希望者に対する来所相談の実施

## ③学校再開後の「心のアンケート」の実施

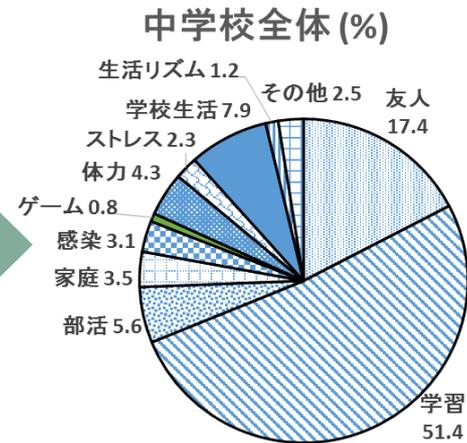
不安を感じている  
児童の割合は  
4.1%

内訳



不安を感じている  
生徒の割合は  
7.8%

内訳



## Ⅱ - 4 修学旅行等の今後の学校行事について

★令和2年9月1日以降に実施する校外行事の申請については、**新型コロナウイルス感染状況を見極めながら、承認していくこととする。** ※令和2年7月20日現在

＜上尾市立小・中学校における修学旅行等の実施予定＞

### 【修学旅行】小・中学校全33校が「実施」を予定

※1学期に実施を予定した学校については延期で対応

#### 【参考】

修学旅行の実施にむけて

- 国・県 通知
- 市・学校再開実施マニュアル
- 旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き《日本旅行業協会》等

#### ★旅行業者等との連携

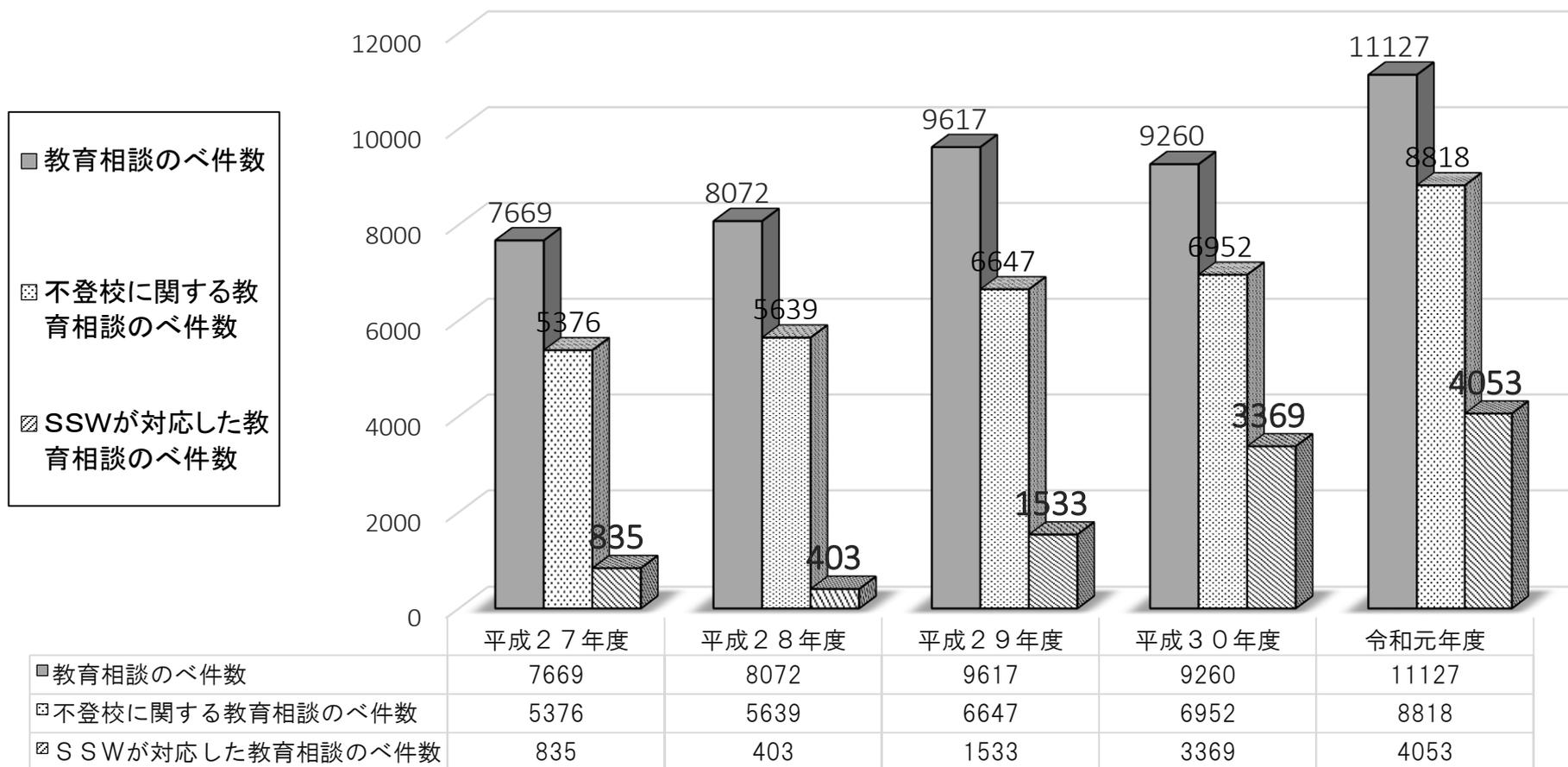
「目的地の感染状況・現地の医療体制等の確認」

#### ★新型コロナウイルス感染症対策の徹底

「保護者等の理解が得られるように努める」



# Ⅲ - 1 教育相談状況と不登校児童生徒に対する支援及び対応について



(参考 不登校児童生徒数の推移(のべ人数))

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年
児童生徒数	135人	161人	223人	240人	240人

## Ⅲ - 1 教育相談状況と不登校児童生徒に対する支援及び対応について

6月末現在 月7日以上

○小学校 22人 ○中学校 120人

3か月間の臨時休業により、

- ・登校できるようになった児童生徒
- ・ゲーム依存が更に進行した児童生徒



↓ 今後

- ・教育センター相談員、さわやか相談員、スクールカウンセラーとの相談
- ・スクールソーシャルワーカーによる訪問支援
- ・ひきこもりのケース等のZoom等を活用した相談
- ・学校以外の施設を活用したサテライト相談

## Ⅲ－２ いじめの現状と支援及び対応について

現状 令和２年度認知 小学校２４件 中学校１０件  
昨年度から取り組み継続中 小学校５３件 中学校１８件

(令和２年７月１日時点)

### 未然防止等について

- ① 上尾市立中学校ネットパトロール調査（業者委託）
- ② hyper-QU                      ③ CAP研修会
- ④ 「いじめを考える授業（特別活動）」授業研究会
- ⑤ 学校の生活アンケート（児童生徒）及び  
子どものサイン発見アンケート（保護者）
- ⑥ 上尾市いじめ問題対策連絡協議会
- ⑦ 上尾市いじめ問題調査委員会
- ⑧ **いじめ報告様式の改訂** → 「いじめの芽」を小さなときに摘んでいく

## いじめ見逃しゼロや自己有用感の育成

を重視して取り組んでいく。